

アジア学院の使命

アジア学院の使命は、
イエス・キリストの愛に基づき
個々人が自己の潜在能力を最大限に発揮できるような
公正且つ平和で健全な環境を持つ世界を
構築することにあります。

この使命の実践に当たって、私たちは
共に分かち合う生き方を目指して
農村指導者の養成と訓練を行っています。
主としてアジア、アフリカ、太平洋地域の農村共同体に生き
働いている男女の指導者たちが
毎年職員やアジア学院に集うその他の人々と共に
学びの共同体を形成します。

この共同体に根ざした学びを通して
私たちは農村の人々が地域で自分たちの持っている
地域資源や能力を共通の目的のために分かち合い
活用する最善の方法を見出してゆくのです。

アジア学院は、
食べものといのちについての独自のアプローチによって
我々自身と全世界に問いかけを続けていきます。

アジア学院のモットー **共に生きるために**

アジア学院とつながる！

サポーターとして世界の農村指導者と
彼らの未来に投資しませんか？

途上国から来る学生たちの学費は、皆様のご寄付によって
支えられています。学生一人当たりにかかる年間費用は
授業料と生活費が172万円と渡航費25万円（平均）。
サポーターとして継続的に支援下さる方を募集しています。
サポーターには会報誌が年4回送られます。

* マンスリーサポーター
(自動口座振替のみ)
(毎月継続寄付) 1000円～

* イヤリーサポーター
(毎年継続寄付) 6000円～

* 自由に寄付をしたい
任意額を右記の口座に
お送りください。

* 奨学金サポーター
FULL 奨学金 (172万円)
1/2 奨学金 (86万円)
1/4 奨学金 (43万円)

2000円以上の寄付に対しては
特定公益増進法人への寄付に
対する税の減免措置があります。
ご希望の方には「減免措置領収書」
をお送りしますのでお知らせ
下さい。

お振り込み情報
郵便振替：00340-8-8758
銀行口座：足利銀行 西那須野支店
普通預金 112403
口座名：学校法人アジア学院

* 遺贈による寄付も受け付けております。

農産物や民芸品
を楽しむ

アジア学院の農場からの
おいしい食品や卒業生が
作ったフェアトレード
コーヒー、民芸品はいかが
ですか？アジア学院ショップ
やウェブサイト
からご購入
頂けます。



長期ボランティア
として活動する

一生の思い出となるボラン
ティア体験！3ヶ月間～1年
間寮で滞在し、研修プログラム
を支えます。海外からの
仲間もいて、
英語が自然と
身に付きます！

その他にもたくさんの
方法があります！

一品寄付、書損じハガキ
寄付等つながる方法は
まだまだあります。
詳しくはホームページを
ご覧になるか、
またはお電話にて
お問合せ下さい。



皆様のご支援を
お待ちしております！



遊びに来て、
英語でフード
ライフを体験

アジア学院の国際的で
ナチュラルなライフ
スタイルを体験して
みませんか？個人、
グループ、お子さまの
ご参加もOKです。

食べること

生きること

分かちあうこと。

大切なものは
農村から学べる。



 ARI 学校法人 **アジア学院**

Asian Rural Institute
Rural Leaders Training Center

〒329-2703
栃木県 那須塩原市 槻沢 442-1
TEL 0287-36-3111 FAX 0287-37-5833

EMAIL info@ari-edu.org
FACEBOOK 学校法人 アジア学院 WEB www.ari-edu.org

 ARI
共に生きるために

学校法人 **アジア学院**
アジア農村指導者養成専門学校

本当の豊かさを知る



東京から北に150キロ離れた那須の地に、世界に他に類を見ないユニークな学校がある。小さな丘に広がるキャンパスに20ヶ国から約60名の人たちが世界の農村の未来のビジョンを描くために農的な暮らしを基礎にした共同体を作り、共に学んでいる。



ここでは毎年本当の豊かさを求めて、自分たちの農村の自立を目指して情熱ある草の根のリーダーたちが世界中から集められる。彼らは、自然的、社会的に厳しい生活を強いられている人々に奉仕する「仕える指導者」として成長する。

ただの学校ではない。世代を越えた男女の構成員がそれぞれの独自の文化や言語、宗教を持ち、「食べ物」と「いのち」を大切にしながら有機農業を通して命の糧を得、自給自足のシンプルな生活を行っている。ここには国内外から毎年多くの人々が訪れ、世界の平和と社会正義を実現する生き方について互いに深く学び合う。それが「アジア学院」である。

学院の共通語は英語だよ！



食卓から考えるグローバル社会

健全な食べもの作りを中心に地域社会を生き返らせて、自然と人間を大切にする社会を築き上げる。豊かな食卓を作り農村地域から平和を紡ぎ出す。そのためにアジア学院は、途上国の草の根で活動する団体の優れた人材を選び、「農村リーダー」として育てる。



仕える指導者 Servant Leadership

学院の目指すリーダー像は、差別のない人間関係を築き、人々に寄り添える人。このリーダー像に近づくためにアジア学院は学生が自主的に成長する機会を提供する。



6ヘクタールの学院キャンパスでは60種類の作物を栽培している。ニワトリも豚も魚もいる。

毎日おいしいオーガニック料理が食べられるよ！



共同体形成 Community Building

毎年多様性豊かな共同体を作り上げるために、一人ひとりの特徴を尊重し、互いに助け合う。メンバー全員の積極的な参加を促し、日々の労働を平等に担う。分かち合いの心に基づく、これからの地域社会に役立つ新しい生活様式を見つけ出す。



「共に生きること」を共に学ぶ

農村リーダーのための研修プログラムの三つの柱、「仕える指導者」、「フードライフ」、「共同体形成」。

フードライフ Foodlife

『食べものとのちは互いに切り離せない』という事実を示すアジア学院独特の言葉。いのちが続くために、私たちは創造主から与えられた自然と土を大切にする。食べものを作って料理を工夫し、それを等しく分かち合うことから喜びを得る。



世界の農民に希望をとどける

学院を卒業したリーダーたちは55ヶ国以上で幅広く活動している。1973年の創立から今日まで、1300人以上が持続可能な農業、教育、医療、難民支援、女性の地位向上、平和活動、土地所有権問題、植林活動、小規模金融などに関わり、農村の価値を人々に再確認させ変革をもたらしてきた。そしてアジア学院にやって来る数えきれないボランティアやビジターもアジア学院から刺激を受け、「共に生きる」精神を世界中に広げている。



個人の成長を促す研修

毎年4月から12月まで9ヶ月間にわたる研修には約30人の学生が参加し、発展途上国の農村で活動するための実行力と姿勢を養います。日本人学生も5名まで受け入れます。技術習得のみならず、参加型学習法、ジェンダー、エコサイクル、差別問題等といったコミュニティリーダーとして欠かせない課題にも触れ、学生が自己の成長を内省できる環境を作り上げようと試みています。

カリキュラムは、アジア学院の使命である「共に生きる」という40年以上にわたる経験から構築されています。座学、有機農業実践、見学と研修旅行、諸団体との交流、自主学習と論文作成、口頭発表、その他多くのイベント等から成り立っています。「コミュニティライフ」も研修にとって貴重な学びの機会です。学生たちは皆、卒業後、自分の国に戻り、所属団体を通してそれらの状況に適した社会変革に強い意志を持って臨みます。